

令和3年度子ども・子育て会議 提出意見一覧

資料5

○提出意見数 : 14件

該当事業、ページNo.は、冊子「ひらつか子育て応援プラン」を参照

1	件名	地域の子育て支援事業の利用状況について	担当課	保育課
	該当事業等	第2章 子ども・子育てを取り巻く現状 調査結果について	ページNo.	P. 31
	意見等の内容	<p>幼稚園や保育所を利用していない家庭は、アンケート回答をした方のうち何%くらいなのかを知りたいです。                      支援センターを使う方は、幼稚園や保育園を利用していない人が多いと思います。その方達が、今後も利用したいのか、利用回数を増やしたい、増やしたくないの理由は何かを知ることで、改善点が見えてくるのではないかなと感じました。</p>		
	担当課の回答	<p>平成30年度に実施しました「子育て支援に関するアンケート調査」では、市内在住の0歳から5歳までの子どもの保護者2,500人に調査票を配布し、1,349件の回答がありました。その内、幼稚園や保育所等の定期的な教育・保育の事業の利用状況についての設問では、「利用している」が62.6%、「利用していない」が37.1%、無回答が0.2%でした。                      お見込みのとおり、「利用していない」と回答された37.1%の方が、地域子育て支援拠点事業を主に利用される方になると思われます。利用者の声は、各施設から報告をいただいております、その声も参考にしながら気軽に訪れることができる場所と感じていただけるように運営してまいります。</p>		
2	件名	小学校での学童保育制度について	担当課	教育指導課
	該当事業等	2(1) 様々な子育て支援サービスの提供	ページNo.	P. 54
	意見等の内容	<p>他の市町村では、放課後学校開放の際に子ども達が校内で遊んでいるのを学校教員の方が見守りして下さるそうです(曜日は決まっているようです)。共働き家庭が多い中、長期休み中だけでも大人が見守って下さる環境があると有難いです。                      1回いくらという形で有料サービス等があると、多くの保護者が助かることと思います。</p>		
	担当課の回答	<p>学校の校庭については、子ども達が自由に遊べる場として放課後開放しております。現在のところ、新たに学校教職員が見守る形での学童保育については、実施の予定はございませんが、平塚市の放課後児童クラブ(学童保育)では、職員が遊びや生活を通じた保育を行っております。                      なお、放課後児童クラブ(学童保育)は、青少年課が所管しており、委託事業として、各地区に開設されております。                      御理解、御協力くださるよう、お願いいたします。</p>		
3	件名	ブックスタート事業	担当課	中央図書館、健康課、保育課
	該当事業等	2(2)6 ブックスタート事業	ページNo.	P. 58
	意見等の内容	<p>利用させて頂き、子どもがとても喜んでくれて感謝しています。                      要望を強いて言えば、南口図書館で開催する日をもう少し増やして頂けるとさらに助かるなと思いました。</p>		
	担当課の回答	<p>引き続き、より多くの参加希望者を受け入れられるよう、各会場の開催回数や定員の枠等を見直しながら実施いたします。</p>		

4	件名	インクルーシブ遊具について	担当課	みどり公園・水辺課
	該当事業等	4(3)2 公園整備事業	ページNo.	P. 71
4	意見等の内容	<p>他の市町村の方の話によると、公園にインクルーシブ遊具ができたとしても、健常児と障がい児が遊具の共有をする際にやはり見えない壁があり、同じ空間で遊ぶことが難しいと聞きました。今後平塚市内にインクルーシブ遊具が完成し子ども達が遊ぶようになった際、このような見えない壁への御対応は何か考えておられますでしょうか。</p> <p>例えば、健常児・障がい児が共に参加できるイベントの開催など、遊びの時間を共有する機会を作っていただくことなども方法かと思えます。</p>		
	担当課の回答	<p>インクルーシブ遊具等整備を行うにあたり、障がい者関係団体に公園整備や運営方法についてヒアリングを行っています。その中で、御質問のとおり、健常者と障がい児が自然に関わり合う事が出来る空間づくりには、工夫や配慮が必要であると御意見をいただいております。今後は、いただいた御意見を参考に、関係課による庁内推進会議で更に議論を深めて参ります。</p> <p>広場に訪れる人達から、インクルーシブな考え方を広め、健常児と障がい児が自然に関わり合う空間を作り上げていきたいと考えております。</p>		
5	件名	乳房マッサージへの補助について	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)① 妊産婦の身体づくり	ページNo.	P. 74
5	意見等の内容	<p>コロナ禍では乳房マッサージを訪問で行っている開業助産師さんがいます。市の方で補助して頂けると助かります。</p> <p>赤ちゃんを育てる上で母乳による授乳は必須ですが、母乳が詰まってしまったり、赤ちゃんが上手に飲めなかったり、乳首が痛くてママが辛い思いをしているといった授乳時のトラブルがかなりあります。</p> <p>母乳が詰まってしまうと乳腺炎を起こしてしまうケースがあります。最悪の場合切開したり大掛かりになることもあります。</p> <p>そこでママたちは母乳外来や訪問助産師さんによる乳房マッサージをしてもらうのですが、こちらの経済的な補助を市の方でできないか是非検討していただきたいです。訪問助産師さんによる乳房マッサージは1回につき5000円前後かかります。多いと月に3回前後利用することもあり、経済的に大きな負担になります。</p>		
	担当課の回答	<p>本市では、産後間もない母子に対し、授乳指導や乳房管理など含む心身のケアや育児のサポートを行う事業を実施しています。</p> <p>一方、開業助産師による乳房マッサージに対する補助制度はありませんので、今後検討してまいります。</p> <p>なお、赤ちゃん訪問、電話などでも、助産師が無料で授乳指導や乳房の手入れなどの相談に対応しておりますので、お気軽にご連絡ください。</p>		
6	件名	妊婦歯科健康診査、育児教室(歯みがき教室)について	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)①1 妊婦健康診査、5(1)② 乳幼児の身体づくり	ページNo.	P. 74、P. 75
6	意見等の内容	<p>妊婦歯科健康診査、育児教室(歯みがき教室)が実施されているので、記載してもよいのではないのでしょうか。</p>		
	担当課の回答	<p>妊婦歯科健康診査及び歯みがき教室の記載については、次回改定の際に記載できるよう調整します。なお、令和2年度の実績は、妊婦歯科健康診査328人、歯みがき教室の参加者は延べ148人でした。</p>		

件名	妊産婦向けの教育	担当課	健康課
該当事業等	5(1)①3 妊産婦への教育の充実	ページNo.	P. 74
意見等の内容	<p>夫婦で一緒に参加させていただき学びが多くよかったなと思いました。その一方で改善していただきたい点もあります。</p> <p>① 授乳についての情報が全くなかったのであればよかったと思いました。授乳は家庭によって完全母乳・混合・完全ミルクとそれぞれ希望があると思いますが、まずは母乳を与えることが基本です。しかし、直接母乳を与えることがこんなにも大変だということが元看護師の私ですら全く知らず、夫婦ともに困惑しました。(乳腺炎になると発熱の症状が起きることもあるが、コロナ疑いに扱われてしまうため、PCR検査もしなければならぬ。そのため熱が出る前に母乳が詰まったとか前駆症状のうちに早めに訪問助産師や母乳外来への相談が必要だったが、そのようなことは知らなかったこと、乳首が痛くて授乳の度に激痛が走るが1日に10回以上も授乳を行わなければならず、苦痛で心が折れそうになったこと、頻回に授乳させる理由が分からず、つらくて仕方がなかったなど)</p> <p>そういったことは産院での退院指導で行うことかもしれませんが、ろくに教えてくれないのが現状です。また、出産は何時間、人によっては数日かかり、交通事故レベルに体はボロボロになり、産後直後から数時間ごとの授乳で眠れず、そういった状況で退院指導していただいても頭に入りません。また、パパも「産院でママが教わるだろうからそれを教えて貰えば良いや」と呑気に構えがちですが、産院から退院して直後のパパは沐浴やおむつ交換、ミルクをあげることは勿論のこと、抱っこすら出来ない方が非常に多いです。</p> <p>したがって、比較的ゆとりがある産前に基礎的なことだけでもいいのでそういった指導を是非取り扱って欲しいです。</p> <p>② 「ママの気持ちの変化」を知る機会があるとよかったと夫婦ともに感じました。</p> <p>我が家の場合は、夫が大変協力的で、市のプレパパ・プレママ向けの教室は大体参加し、プライベートでも先輩パママからのアドバイスも直接受けていました。それにもかかわらず、産後のママ(私)の精神的な大きな変化にとってもビックリして夫はととても戸惑った様子でした。可能であれば、先輩パパによる実体験の話聞かせて頂けるとより具体的にイメージがつき、理解しやすくなるのではないかと思います。</p>		
担当課の回答	<p>参集型の学習の場である母親父親教室は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度は中止としており、大変御迷惑をおかけしております。</p> <p>① 本来ですと、授乳については、母親父親教室の「あかちゃん誕生準備編」のカリキュラムの中で、出産までの経過や産後の体調管理、新生児の特徴等と合わせて説明しています。また、「Hello Baby育児体験」では、抱き方、おむつ交換、着替えの体験を夫婦で体験できます。令和3年10月からは、ホームページの特設サイトで赤ちゃんのお世話の方法(おむつ交換、入浴、着替え)の動画配信を開始しました。</p> <p>乳腺炎等の乳房トラブルについては、個々の状況により対処法が異なりますので、電話相談や家庭訪問で個別に対応しています。</p> <p>② ①と同様に、本来ですと母親父親教室の「あかちゃん誕生準備編」のカリキュラムの中で産後のママの気持ちの変化及びパパの気持ちの変化について説明しています。実際の体験談を参考にし、より具体的にイメージがつきやすい講座となるように努めます。</p> <p>なお、メンタルヘルスの不調に対しては、心理の専門家による産後メンタルヘルス相談もありますので、お気軽にお問い合わせください。</p>		

8	件名	産後ルームママはぐ	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)①4 産後デイサービス「産後ルームママはぐ」	ページNo.	P. 75
	意見等の内容	<p>子育て世代包括支援センターで親子の気軽な交流の場を提供していただき、それをきっかけにママ友ができたりしてとても良かったです。</p> <p>その一方、出産した2020年10月から半年ほどはまだ参加しやすかったのですが、コロナウイルスの変異株が猛威を振るい、そういった場に参加するのをためらうようになった親御さんは少なくないと思います。また、保健センターがワクチン接種会場になったため中止になりました。そこで、オンラインでのそういった交流の場があると良いと思います。</p> <p>平塚市の開催というのが厳しい場合は、オンラインでの交流の場を作ってくださる開業の助産師さんを紹介するなど良いかと思います。(私の場合は平塚市のある開業助産師さんがzoomを使って骨盤体操、離乳食教室などのイベントを開催して下さい、それに参加しました)そういった教室も市の方で補助して頂けると親御さんも参加しやすいのではないかと思います。</p>		
担当課の回答	<p>本市でも、母親あるいは父親同士の交流の場づくりは子育て支援の重要な柱と考えていますので、今後、オンライン上での開催等を研究します。</p>			
9	件名	産前・産後ヘルパー派遣事業について	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)①5 産前・産後ヘルパー派遣事業	ページNo.	P. 75
	意見等の内容	<p>生後1週目に申請して、3週目から利用させて頂きましたが、里帰りなし、夫の育休は7日間のみ、初めての育児である私たち夫婦には大変ありがたい制度でした。</p> <p>しかし、補助がある期間が生後6か月までは少し短いように感じました。</p> <p>市の保健センターの方が「平塚に住むママさんは、近隣に実家がある方が多く、家族のサポートを受ける方が多い」と話していましたが、コロナ禍のため、実家が同一県内や都内と近くても帰れない方は少なくないと思います。6か月を過ぎると、ある程度育児になれる頃でもありますが、ほぼワンオペの方の場合、生後6か月を過ぎると赤ちゃんの動作が劇的に伸びて目が離せなくなるため、利用期間の延長を検討して頂けるとありがたいです。</p> <p>また、ホームページや広報にしかこのような事業が掲載されていないのはもったいないと思います。子育て向けの独自のTwitter等SNSのアカウントを作って活用をすると認知度が上がり、利用者が増えるのではないかなと思います。</p>		
担当課の回答	<p>家事や育児の負担軽減に繋がっているとお声を実際に頂戴し、とても嬉しく思います。</p> <p>現在の利用期間は、産後5か月以内となっていますが、新型コロナウイルス感染の再拡大によっては、身内からの支援が受けづらい状況が継続することが予想されるため、利用期間の延長を含め利用しやすい事業の在り方を検討します。</p>			
10	件名	乳幼児健診について	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)②1 乳幼児健康診査	ページNo.	P. 75
	意見等の内容	<p>健診にて、発達について気になることの相談ができたり、専門家の方の評価から適切なサポート(療育など)に繋いでいただいたり、早期の対応はもちろん就学に向けた準備(デイサービス利用など)ができるという部分で、とても有難いと思います。</p> <p>(事務局から) 頂いた御意見を、担当課に伝えました。</p>		

11	件名	母子保健計画の訪問事業について	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)②3 訪問事業	ページNo.	P. 75
	意見等の内容	<p>訪問した保健師さんは、とても丁寧で親身に話を聞いてくださって良い事業だと感じました。</p> <p>(事務局から) 頂いた御意見を、担当課に伝えました。</p>		
12	件名	学習の場の提供	担当課	健康課
	該当事業等	5(1)②4 学習の場の提供	ページNo.	P. 76
	意見等の内容	<p>7か月児相談がコロナのため中止されてしまい非常に困りました。</p> <p>生後7か月は、離乳食が始まり1-2か月経ち、赤ちゃんの日常生活動作(ADL)も増えて目が離せなくなり、さまざまなものに興味を示しはじめる頃で、どんな遊びをしたら良いかなどわからず困りました。同じ月齢でも個人差がかなり出てくる頃のため、個別相談ができないのはきつかったです。</p> <p>LINEなどを使って非対面でも良いので何か気軽に使えるサービスがあると良いなと思いました。</p>		
担当課の回答	<p>7か月児相談及びすべての月齢で利用できる育児相談は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年4月から12月まで中止としています。その間、保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士などの専門職による電話相談や家庭訪問での個別相談を実施していますが、今後はインターネットを活用したオンライン相談などの開設も検討します。</p>			
13	件名	医療的ケア児について	担当課	こども家庭課
	該当事業等	5(4)③ 障がい児への支援	ページNo.	P. 82
	意見等の内容	<p>・医療的ケア児の症状が安定し、親が、職場復帰等を望む場合の保育(受入れ先)の確保について、御検討いただければ幸いです。</p> <p>また、通園や通学への送迎や同席などを保護者が担わずに生活ができ、レスパイトの準備等の負担が軽減できるよう、総合的な支援体制作りを進めていただければと存じます。</p> <p>・医療的ケア児等コーディネータの配置・運用方法等について、方向性がでたところで、計画に盛り込んでいただければと思います。</p>		
担当課の回答	<p>・医療的ケア児の保護者の就労継続や負担軽減のために、保護者の付き添いなく受け入れが可能な保育所等の確保については、保育課など関係部署と協議、研究をしていきます。</p> <p>また、医療的ケア児の通学支援事業の整備を国や県の動向を注視しながら検討するほか、保護者負担を軽減するための支援体制づくりについて、引き続き関係機関と協議していきます。</p> <p>・医療的ケア児等コーディネーターの配置について、障がい児福祉計画に目標値を設定し取り組んでいきます。またコーディネーターの運用方法について、国や県の動向や先進モデル地区の事例を参考にしながら整備していきます。</p>			

14	件名	インクルーシブ教育、障がい児の高校進学について	担当課	子ども教育相談センター
	該当事業等	5(4)③4 就学相談・指導事業	ページNo.	P. 83
	意見等の内容	<p>インクルーシブ教育が少しずつ増えてきていますが、現実的には、障がい児の高等学校（普通校）への入学は厳しいと聞いております。障がい児を受け入れて下さる学校が少しでも増えると、進学の実選択肢が広がるのではないかと思います。特に、発達にバラつきがあったりグレーゾーンの子供達の進路は難しく、支援学校だけでなく普通校という選択肢があると、個々に合った進学先を選びやすくなると思います。</p> <p>また、支援級の担任経験のある教員の方がいて下さると、親子共々安心して通うことができるのではないかと思います。</p>		
担当課の回答	<p>神奈川県教育委員会では、障がいのある生徒の様々な教育的ニーズに対応できるよう、県立学校の学びについて多様化を進めており、クリエイティブスクール、フレキシブルスクールなど特色ある学校を設置しております。その一つであるインクルーシブ教育実践推進校では、知的障がいのある生徒も入学し、様々な支援を受けながら、知的障がいのない生徒と一緒に授業を受け、高校生活を送っています。また、通級指導教室のある高校の設置も始まっています。様々な進学先について市内中学校の先生方にさらに理解を深めていただき、個々に合った進学先を選べるよう、周知を進めてまいります。</p> <p>また、教員配置について御意見をいただいたことを、県教育委員会にお伝えいたします。</p>			